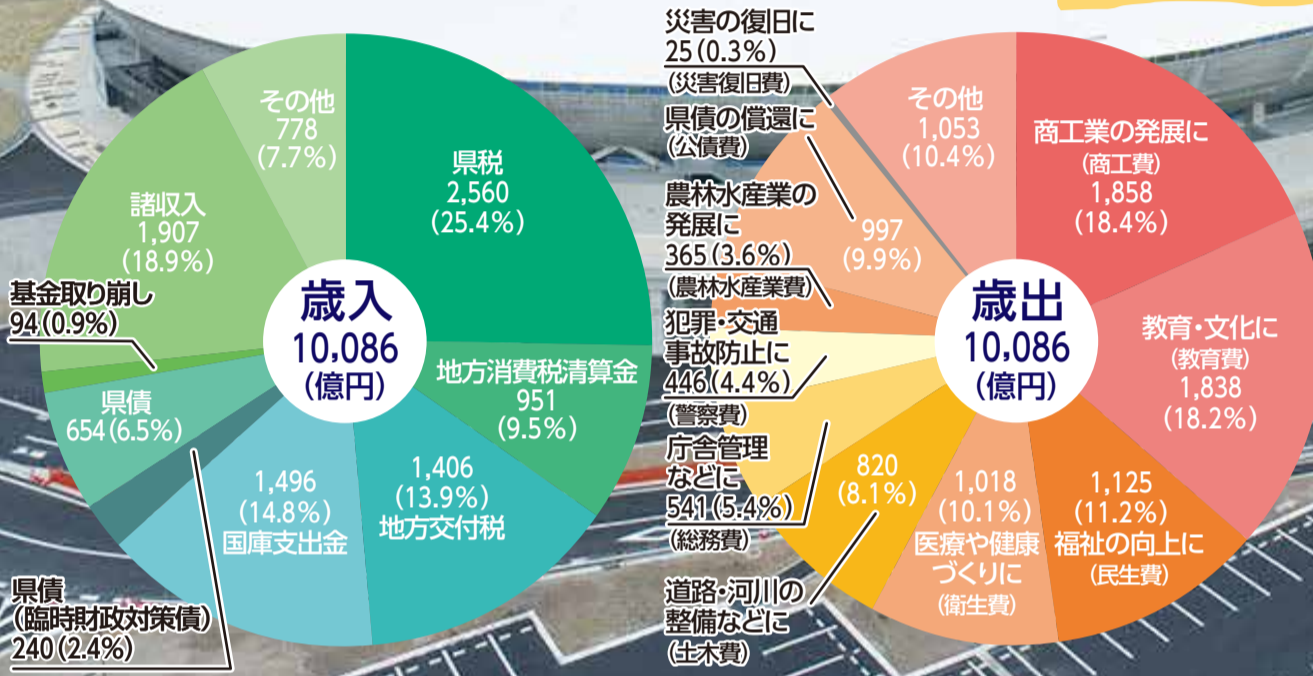


新年度県予算

いちご一会 とちぎ 開化予算

新年度は、過去2番目の規模となる1兆円を超える予算を編成。引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策に取り組むとともに、いよいよ10月に開催となる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成功に向けて力を入れていきます。今回は、この予算の中から新規事業を中心に主な事業をご紹介します。

令和4年度一般会計当初予算額 1兆86億円 [前年度比 0.7%減]



予算のポイント

詳しくはこちら →

- 令和4(2022)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開
 以下4つの重点事項に取り組みます。
 新型コロナウイルス感染症対策
 デジタルトランスフォーメーション*
 脱炭素化
 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会
 ※進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへ変革すること
- 県の重点戦略「とちぎ未来創造プラン」と人口減少問題の克服を目指す「とちぎ創生15戦略(第2期)」の着実な推進
 2年目となるプランに掲げる5つの戦略に基づく事業に取り組みます。

1 令和4(2022)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開

新型コロナウイルス感染症の克服とポストコロナにおける「新たな日常」への対応

- 新型コロナウイルス感染症医療提供体制整備事業費 ----- 312億1,700万円
 入院病床・宿泊療養体制の確保、臨時医療施設の運営を行います
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業費 ----- 28億8,500万円
 個別接種回数等の一定数確保、一定要件を満たした医療機関や職域接種実施企業等に対する助成、県営ワクチン接種会場の設置・運営などに取り組みます

デジタルトランスフォーメーションの推進

- 新規 デジタル化で残し伝えるとちぎの文化発信事業費 ----- 7,200万円
 本県の貴重な文化資源をデジタル化して保存し、ウェブ上で公開するとともに、地域活性化等への活用を図ります

脱炭素化の取組等の推進

- カーボンニュートラル推進事業費 ----- 5億100万円
 省CO₂設備・自家消費型太陽光発電設備導入への助成、市町における脱炭素先行地域創出への支援、インフルエンサーによる情報発信などを行います

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」・第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の開催とレガシーの継承

- 国体・障スポ開催事業費 ----- 55億8,500万円
 開・閉会式等の会場整備、式典の企画・運営、再生可能エネルギーの活用やプラスチック代替素材の活用など環境配慮に係る取組の導入、おもてなし広場の運営などを実施します

- 産業活性化金融対策費(新型コロナウイルス感染症対応資金分) --- 1,296億800万円
 新型コロナウイルス感染症により売上が減少している中小企業を対象として、資金繰りを支援します
- 新型コロナウイルス感染症雇用対策費 ----- 2,000万円
 新型コロナウイルス感染症の影響による離職者等の再就職を支援するためのフェア等を開催します
- とちぎUIターン・定住促進・関係人口創出事業費 ----- 1億600万円
 移住と仕事のワンストップ相談、東京圏在住の若年層やテレワーカー等に向けたデジタル広告の配信などを行います

- 新規 GIGAスクール*運営支援センター整備事業費 ----- 9,500万円
 県立学校のICT運用を支援するためのコールセンターの設置、タブレット端末やネットワーク等の技術的相談に対応するためのICT支援員の派遣を実施します
 ※児童生徒に1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する国の取組

- 新規 カーボンニュートラル実現に向けた産業成長推進事業費 -- 1億3,400万円
 県内企業が連携等を行う革新的な技術開発やシステム構築に対する助成、経営層に向けた脱炭素化の取組を促進するためのセミナー等を開催します

- 競技力向上費 ----- 7億1,200万円
 天皇杯・皇后杯*の獲得に向け、競技団体の選手強化への支援、有望選手・チームの強化支援、ジュニア選手の育成・強化支援、スポーツ専門員の配置などを実施します
 ※天皇杯(国体・男女総合第1位)、皇后杯(国体・女子総合第1位)
- 新規 いちご一会から始まる縁づくり事業費 ----- 2,600万円
 両大会に来県した方へのおもてなしクーポンを活用した栃木ファンの強化・拡大を図る仕組みを構築します